

Women's World Cup (ロンドン/イングランド)

大会名	Women's World Cup	日付	2018年7月24日
場所	Lee Valley Hockey & Tennis Centre	天候	晴れ
試合	第2戦 (予選リーグ)	通算結果	1勝1敗

Country	RESULT	Country																
日本 JAPAN 世界ランキング12位	2	1 ニュージーランド NEW ZEALAND 世界ランキング4位																
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>2P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>3P</td><td>1</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>4P</td><td>1</td><td>-</td><td>1</td></tr> </table>			1P	0	-	0	2P	0	-	0	3P	1	-	0	4P	1	-	1
1P	0	-	0															
2P	0	-	0															
3P	1	-	0															
4P	1	-	1															

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
✓	2	内藤 夏紀	C
	3	小野 真由美	
✓	5	浅井 悠由	
✓	7	永井 葉月	
	8	真野 由佳梨	
	9	加藤 彰子	
	10	清水 美並	
✓	11	野村 香奈	
✓	12	永井 友理	
	13	弧塚 美樹	
✓	14	瀬川 真帆	
✓	15	石橋 唯今	
✓	16	及川 葉	
	20	狩野 真美	
✓	22	河村 元美	
✓	27	山田 明季	
	30	赤谷 衿香	GK
ヘッドコーチ		FARRY Anthony	
UMPIRE		MEISTER Michelle (GER)	

Start	No.	Name	備考
	5	DAVEY Tarryn	
	6	HARRISON Samantha	
✓	4	MERRY Olivia	
✓	5	DAVIES Frances	
	8	ROBINSON Amy	
✓	8	RUTHERFORD Sally	GK
✓	9	NEAL Brooke	
✓	12	GUNSON Ella	
✓	13	CHARLTON Samantha	
	15	O' HANLON Grace	GK
	5	16	THOMPSON Liz
✓	24	KEDDELL Rose	
✓	25	SMITH Kelsey	
✓	28	GLOYN Shiloh	
	5	29	DOAR Madison
	35	30	TUILLOTOLAVA Louisa
✓	31	MICHELSEN Stacey	C
✓	32	McLAREN Anita	
ヘッドコーチ		HAGER Mark	
UMPIRE		PRESENQUI Irene (ARG)	

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	35	及川 葉	PC	1-0
JPN	48	清水 美並	FG	2-0
NZ	52	McLAREN Anita	PS	2-1

Country	Min	Name	Action	Score

2018女子ワールドカップ、世界ランキング12位の日本と世界ランキング4位のニュージーランド (NZ) の対戦は、NZのセンターパスから開始された。

第1Q、立ち上がり、最初にチャンスをつくり出したのはNZ。#32に左サイドからドリブルで切り込み、リバースシュートを打たれるが枠を外れる。試合序盤、日本はなかなかパスを繋ぐことが出来ない時間帯が続くが徐々にリズムを掴み始める。9分、日本が左サイドでパスを受けた#12永井友理がゴール前に飛び込んだ#22河村にパスを合わせるがNZのGKにファインセーブされる。

第2Q、開始早々日本#3小野が23m付近からサークル内へ入れたボールがNZのDFの足に当たりPCを取得する。そのPCで#2内藤は右を狙ってスイープシュートするがポストを守っていたNZの選手にクリアされる。20分にも#12永井友理の左からの回り込みで2本目のPCを取得する。左のパスナーに戻してシュートを狙うがタイミングが合わない。NZもプレスからのカウンターで攻めようとするが、日本のディフェンダー#5浅井を中心に簡単にチャンスを与えない。

第3Q、立ち上がり#22河村が3本目のPCを取得する。#20野村がフリックシュートするがGKに止められる。しかし、続く34分、この試合プレイヤーオブザマッチに選ばれた#10清水が4本目となるPCを取得する。それを#16及川がスイープで直接決め日本が待望の先制点を挙げる。その後、両チーム共に得点チャンスをつくり出すが得点には至らず、1-0の日本リード最終クォーターに入る。

第4Q、日本はまたもや、立ち上がりからNZサークルに攻め込む。48分、NZのスクープからのアウトレットをカットした#14瀬川が#10清水に縦パス、清水は巧みなドリブルでNZのゴールキーパーをかわし、リバースシュートを決め、リードを2点差に広げる。その得点をきっかけにNZの反撃が始まる。52分、NZが立て続けに2本のPCを取得してその2本目のPCで、ゴール前で日本が身体でシュートを止めたことと判定され、PSを取ら2-1でNZに追い上げられる。54分にもNZにPCを取得されるが、ゴールを死守する。試合終了間際に日本は追加点を奪うチャンスをつくり出すことが出来るが、2-1の勝利で試合終了。この結果によって日本は1勝1敗となり、日本戦の後に行われたオーストラリア対ベルギーが0-0で引き分けたため、グループDは大混戦の状況である。日本は、最終戦のベルギー戦を残して1位通過の可能性は残しているものの敗れば予選リーグ敗退の可能性も残っている。

日本	4	PC数	3	ニュージーランド
	12	シュート数	13	